北海道医師会役員

就任のご挨拶

理事就任ご挨拶

理事
旭川医科大学医師会
旭川医科大学内科学講座
（消化器・血液腫瘍制御内科学分野）教授
奥　村　利　勝

この度、北海道医師会理事を拝命しました旭川医科大学医師会の奥村です。よろしくお願いいたします。

私は釧路市出身で旭川医大６期（昭和59年）卒業で、在学中はラグビー部にいました。卒業後は並木正義初代教授主催の本学第三内科に入局し、総合診療部を経て現在に至っております。

私たちの教室（第三内科）同門には道内で活動しているものが大多数で現在約300人おります。私は入学以来旭川を離れたのは、２年間の米国留学と半年間の釧路市の実家医院継承とその廃業の間のみです。すっかり旭川医大での生活が長くなりさまざまな人にお世話になってきました。大学同期の皆には在学中から本当にお世話になっており、今でも困った時は先ず同期を頼ります。医学部の同期生は皆同じ職業という、社会の中でも極めて珍しい世界ですが、困ったことは同期に相談すればなんとかなります。これまで本当にいろいろ助けてもらいました。現在も大学内に同期が３人います。市内で開業や勤務医をしている同期は20人くらいいます。道内に広げると更に30人くらいいます。

北海道医師会とはこの10年以上にわたって年１回開かれる１泊２日研修指導医講習会のタスクフォースとして関わってきましたので、毎年、長瀬会長や事務局の皆様のお世話になってきました。

在学中のラグビー部６年間は本当に楽しかったです。医学部のお遊びラグビーでしたが、ある意味真剣で、この部活のつながりは私の人生においても大きな位置を占めています。昨年のラグビーW杯の試合は自宅で旭川医大ラグビー部の試合着を着てTV観戦しました。生きているうちに現役諸君には悲願の東医体優勝を期待しております。

断片的な文を書いていますが、それぞれの大学同窓、同門、同期、部活の集合体が北海道医師会であると思われます。私の力は微々たるものですが、皆の力を結集して、コロナ時代の難局に対応したいと思っています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

お知らせ

第47回（令和２年度）全道医家囲碁大会中止のお知らせ

令和２年11月に札幌市医師会館にて開催を予定していた第47回（令和２年度）全道医家囲碁大会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と参加者の健康・安全を考慮した結果、開催を中止することといたしましたので、ご案内申し上げます。

―全道医家囲碁連盟事務局―